

令和3年

第3回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

## 令和3年第3回仙北市議会定例会 市政報告

令和3年第3回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

5月9日から市内3会場で75歳以上の希望する方々を対象に、順次ワクチン接種を進めています。6月2日までに1回目の接種を終えた方は3,477人で、接種対象者全体の15.8%になっています。なお、この中には、各会場で74人分のキャンセルがあり、この対応で接種した医療従事者や老人福祉施設の介護員等が含まれています。また、2日現在の予約件数は、4,510人となっています。

65歳から74歳までの方々には、5月25日に接種券を発送し、6月7日からコールセンターで予約受付を始め、6月20日の週から接種を開始します。7月中には65歳以上の接種を終了する予定です。

また、老人福祉施設については、各施設で個別に接種することにしていて、入居者と職員を対象に、6月7日の週から順番に接種を行うことで各施設と調整を進めています。

8月からは64歳以下の接種が始まりますが、電話での予約のほか、市ホームページからインターネット予約もできるように準備を進めています。64歳以下の方の予約開始の時期や予約方法については、別途広報でお知らせします。

今後も10月の接種終了を目標に全庁体制で取り組みます。接種会場では医師会から派遣の医師、看護師のほか、仙北市ボランティア連絡協議会の皆様のご協力、秋田県仙北地域振興局職員の派遣もあり、接種に来られた皆様をはじめ、多くの市民のご協力に改めて感謝を申し上げます。

次に、一般会計補正予算(第2号及び第3号)についてです。

第2号の補正額は3,290万円で、補正後の額は、208億2,433万9千円です。追加事業は子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費です。5月11日の児童扶養手当支給に併せた給付、5月9日開始のワクチン接種に係るシャトルバスレンタル等で速やかに事業執行する必要があったため、4月12日付けで専決処分しました。

第3号の補正額は1億4,953万5千円で、補正後の額は209億7,387万4千円です。主な追加事業は、再生可能エネルギー導入促進事業費、サテライトオフィス誘致促進事業費(地方創生推進交付金)、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(ひとり親世帯以外分)、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費、メガ団地等大規模園芸拠点育成事業費補助金、雪害対策緊急支援事業費補助金、地域おこし企業人交流プログラム事業費負担金、せんぼくこまくさプラン事業費、FIS フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会負担金、仙北市学校給食応援事業費などです。第2表債務負担行為補正は追加、第3表地方債補正は変更です。

なお、令和2年度一般会計決算見込み及び市税関係については、5月31日の出納閉鎖後の決算数値を精査し、最終確認を行った上で本定例会中に報告の機会を持ちたいと思います。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

## 【総務部】

### ◇東京2020オリンピック内定選手 佐藤彩乃さんへの応援ギフト贈呈について

東京2020オリンピックカヌー競技への出場が内定している佐藤彩乃さん(神代出身)あてに5月19日、仙北市及び仙北市議会が合同で入浴剤を応援ギフトとして贈呈しました。

練習後の疲れを癒し、ふるさと仙北市を思い出していただければと思

います。大会での活躍を心から祈念しています。

### ◇第三セクターの経営改善について

長引くコロナ禍もあり、株式会社花葉館、株式会社アロマ田沢湖、株式会社西宮家、株式会社西木村総合公社の経営は、いずれも抜本的な改革を余儀なくされています。そこで現状分析と翌年度に向けた事業計画策定のため、経営分析と改革に実績の高い山田コンサルティンググループ株式会社(本社:東京都)に業務を委託しました。事業委託期間は令和4年1月20日です。

### ◇行政DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について

全庁的に取り組む必要がある行政DXについて、各部局から横断的に職員6人を任命し、併せて外部有識者として細川甚孝(ほそかわ しげのり)さん(合同会社政策支援)にDXアドバイザーをお願いし、推進チームを立ち上げました。5月25日には1回目の会議を開催し、各部の現状を確認しました。今後、業務の調査・分析を行い推進計画の策定を進めます。

### ◇ふるさと納税について

令和2年度のふるさと納税額は、令和元年度に続き全県1位が確実な状況です。全国8万件を超えるご寄附をいただきました。納入総額は14億5,874万3,219円で、対前年比177.5%、6億3,702万1,519円の増です。本当にありがとうございました。今年度も主力の米に加え、ごはんパック等を返礼品に加えるなど、更なる寄附増を目指して取り組みます。

### ◇小水力発電事業について

仙北水力発電株式会社(佐藤育男代表取締役)が玉川地内の民有林で計画を進めている小野草・鶴の湯小水力発電所が、それぞれ今年8月と9月に本格稼働となり、電力事業者による再生可能エネルギー電

気の調達に関する特別措置法、いわゆるFIT(フィット)制度の活用による固定価格での売電事業がスタートします。

同社では、新たに同社を母体とした「あきた仙北水力発電株式会社」を設立する予定で、同じく玉川地内の国有林野に濁沢第1・第2発電所を計画しています。現在は2022年度以降の事業化に向けて、事前調査や関係官公庁との事前協議が行われています。今後新たに行うFIT制度の利用については、令和3年4月に改訂された資源エネルギー庁の事業計画策定ガイドラインに基づき、地方公共団体が自ら行う事業又は地方公共団体による直接出資が新たな要件として加わっています。

小水力発電の事業化については、売電価格が安定して保障されるFIT制度の活用がなければ成り立たないこと、何より同計画が脱炭素社会の実現に向け策定された仙北市地域新エネルギービジョンに位置付けられた計画であることから、同事業計画を推進するため本定例会に関連予算を提案しています。ご審議のほどよろしく申し上げます。

#### ◇スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定について

内閣府によるスーパーシティ型国家戦略特別区域の指定について、市民からの意見募集を行い、4月16日に提案書を提出しました。概要については市ホームページや広報でお知らせしています。「しあわせな未来のいなか」をテーマに、健康、農業、観光、移動、行政の5つの分野で先端的サービスを展開する構想です。今後、専門調査会や国家戦略特区諮問会議を経て夏頃を目途に指定区域が決定される予定です。

#### ◇建物火災について

4月11日午後1時40分頃、角館町岩瀬下夕野地内で林野火災が発生しました。出火から約1時間40分後に鎮火しましたが、杉立木55本、下草567.9㎡が焼損、隣接する小屋2棟が全焼しました。この火災による人的被害はありませんでした。

4月17日午後7時30分頃、田沢湖卒田字上真崎野地内で住家建物火災が発生しました。出火から約2時間50分後に鎮火しましたが、出火

直後からこの家に住んでいる夫婦と連絡が取れず、同日、焼け跡から2人の遺体が発見されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

4月29日午後8時10分頃、角館町上新町地内で住家建物火災が発生しました。隣接する店舗併用住家にも延焼し、出火から約6時間30分後に鎮火しましたが、建物は全焼しました。この火災で火元の男性が病院に運ばれましたが、翌日には退院しました。

今年に入り、県内及び市内でも火災が多発していて、まだ暖房など火を取り扱う機会も多いことから、消防署・消防団と連携し、チラシや広報等で火災防止の啓発を強化します。

## 【市民福祉部】

### ◇新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金等について

長引くコロナ禍に伴い、社会福祉協議会の緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯で一定の要件を満たす生活困窮世帯については、新たな就労や生活保護の受給に結びついていない実態があることから、その隙間を埋めるため、生活保護に準ずる水準の困窮世帯に対する支援策として、新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金支給の準備を進めます。生活保護へのつなぎと併せて適切に対応していきます。

また、感染予防対策に対する負担が増加している中で、非課税世帯・子育て世帯の負担軽減のため、仙北市内で使用できる「新型コロナウイルス対策生活応援商品券」を配付します。7月下旬から使用できるよう準備を進めています。

### ◇子育て世帯生活支援特別給付金について

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、ひとり親世帯に子育て世帯生活支援特別給付金を支給しました。

低所得の子育て世帯への給付金は3回目となり、過去2回はひとり親世帯に対して、第1子は5万円、第2子以降は1人あたり3万円の支給で

した。今回はひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に対しても、児童1人あたり一律5万円が支給されます。

5月11日に支給されたひとり親世帯は、申請不要の令和3年4月分の児童扶養手当受給者で、それ以外の対象者については、申請により受給することができます。

今後、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に対しては、令和3年度分の課税情報が判明する6月以降、国の方針に従って対象者に支給する予定です。

### ◇角館こども園の法人化説明会について

令和2年度に開催された角館地区保育園等の在り方検討委員会の提言方針に基づき、令和4年度に角館こども園を法人化する予定としています。4月21日から3日間、角館交流センターで角館こども園の保護者を対象に説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、延期することにしました。しかしながら、5月に入っても感染者が増え続けている状況を鑑み、当面の間、大人数による集会などの開催は難しいと判断し、感染拡大防止の観点から書面開催により保護者からご意見をいただく方向で準備を進めています。

### ◇田沢湖保健センターについて

田沢湖保健センターは、2月の雨漏りにより漏電の恐れがあることから通電を止めていますが、現在、通路の照明等の修繕を始めるところです。今後のあり方については、公共施設等個別施設計画に沿って検討したいと考えています。

## 【観光文化スポーツ部】

### ◇あきた花紀行について

今シーズンは、刺巻水ばしょう祭りとかたくり群生の郷は中止、角館の桜まつりは規模縮小で実施となりました。その角館の桜まつりですが、実行委員会に市コロナ対策本部から職員が参加したり、秋田大学

附属病院の感染症対策専門医と勉強会を開催したりと、コロナ対策を複眼的に実施する体制づくりに意を配しました。また、予めコロナ禍のフェーズに応じ4段階の開催規模を決め、感染対策マニュアルを作成するなど、最大の緊張感で準備を進めました。開催前から来訪者や観光事業者に対するコロナ対策の徹底、県外からの来訪をご遠慮いただく呼びかけ、道路の右側通行、桧木内川堤の一方通行、検温ステーションや手指アルコールの設置など、二重三重の感染対策を実施しました。感染フェーズを勘案し多くの事業は取りやめになったり、桜もシダレザクラが4月12日に開花し16日に満開、ソメイヨシノは4月14日に開花し18日に満開となり、いずれも25日には花吹雪でしたが、この状況下でも予定通り5月5日までまつりを継続し、期間中34万2千人の皆様にご来場をいただきました。受入側の市民、訪れた観光客の双方が高い意識で感染対策に取り組んだ結果、現在も市内で感染者の発症はありません。

#### ◇祭り・観光イベントについて

新型コロナ感染防止対策の観点から、生保内公園つつじ祭りは実行委員会で中止を決定しました。また、秋田駒ヶ岳山開きは関連するイベントを中止し、関係者による神事のみを行いました。

7月下旬予定のたざわ湖・龍神まつりや9月の角館祭りのやま行事を含む、その他の観光イベントや行事については、各実行委員会等で、順次実施の有無や開催内容について検討している状況です。

#### ◇抱返り溪谷遊歩道について

4月中に抱返り溪谷遊歩道の右岸部分に倒木が生じたほか、神の岩橋の床板に不具合が生じたことから、抱返神社から神の岩橋左岸までを安全対策で通行止めとしています。このため、抱返神社には神代側の第1駐車場側から、また抱返り遊歩道の左岸部分、回顧の滝や飯村少年弔魂碑まで行くには、白岩側の第2駐車場側からのアクセスになっています。修繕については、秋田県が対応することで6月から順次取りか

かると伺っています。

#### ◇秋田新幹線を活用した物流について

7月初旬の実施を目途に、秋田新幹線を活用した「新幹線荷物輸送」の取組を行います。現在のところ、JR東日本との連携事業「五感楽農」の一環で、一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会が実施している「母さんのおすすめセット」をベースに、市内の旬の食材などを新幹線で運びます。人の動きに制限がある中、物を動かして市内経済を下支えする取組の一つです。定期物流となるよう課題の洗い出しを進めます。

#### ◇地域おこし企業人交流プログラムの活用について

三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かして、地域の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらう地域おこし企業人交流プログラムの制度を活用し、10月1日の着任を目途に日本航空(派遣元:ジャルセールス)の社員の受け入れ準備を進めています。なお、期間は最長で3年間です。

#### ◇奇跡のピアノコンサートについて

5月16日、角館庁舎で「樺細工で生まれ変わった奇跡のピアノコンサート」が開催されました。庁舎を市民活動に開放したいと、市がOtoを楽しむ会(安藤満里代表)の協力で共催した、新角館庁舎では初の音楽イベントです。当日は62人の聴衆が、樺細工ピアノ、ファゴット、クラリネットの演奏を楽しみました。今後、角館庁舎を活用した活動発表を角館ミニ劇場と銘打ち、市民にとって芸術文化がもっと身近なものになることを目指し開催していきます。既に複数の市民団体から応募があり、6月27日に津軽三味線、7月中に飾山囃子や朗読会などの内容で調整中です。

#### ◇武家屋敷の公開について

4月10日から市管理の岩橋家、河原田家、小田野家、旧松本家の公開を始めています。河原田家は4月10日にオープニングセレモニーを行い、その後の新聞・テレビ報道の影響もあって、県内客を中心にご観覧をいただいている状況です。同家で行う職員による説明を聞きながらの見学スタイルが特に好評で、角館伝建群の拠点施設として役割を果たしながら、引き続き公開内容の充実に努めたいと考えています。

#### ◇角館町割400年記念事業について

新型コロナの感染拡大を受け、昨年度に延期した角館町割400年記念事業は、本年8月に記念シンポジウムを開催する予定でした。しかし、内外の感染状況から年度内の開催は困難と判断し、令和4年度に再度の延期を決定しました。どうかご理解をお願いします。

#### ◇全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会について

4月1日から4日までの日程で、たざわ湖スキー場及び田沢湖スポーツセンタークロスカントリーコースを会場に、第45回全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会が開催されました。全国からアルペン競技に延べ772人、クロスカントリー競技に延べ67人が参加し、男女別年代別のグループに分かれ熱戦が繰り広げられました。なお、最終日の4日は雨の影響により競技は中止となりました。

市のコロナ対策本部とも連携し、新型コロナ感染症対策の手法として大会コースを貸切りとしたり、出場選手や役員などには2週間前からの健康観察を義務付けるなど、感染対策に細心の注意を払って運営が行われました。大会後も感染症の発症報告はありません。

#### ◇チャレンジデーについて

毎年5月最終水曜日、運動の習慣化や健康づくりを目的として全国一斉に実施しているチャレンジデーですが、新型コロナの感染状況が見通せず、準備を進めるにも多くの制約が伴うことなどから、主催する公益財団法人笹川スポーツ財団の判断で、10月27日へ延期されること

になりました。

#### ◇東京2020オリンピック聖火リレーについて

「希望の道を、つなごう」をコンセプトに、3月25日、聖火リレーが福島県をスタートしました。仙北市では6月8日午後4時40分頃から、桜並木駐車場を発着地点として武家屋敷周辺を13区間のコース設定で行われる予定です。なお、独自の盛り上げイベントとして予定していた角館高校飾山囃子部の演舞については、会場における密を防止する観点から、秋田県実行委員会からの要請により中止することとしました。

国内外から注目を集める聖火を迎え、観光名所である武家屋敷の町並みの魅力が発信されることを期待しながら、しっかり希望の道をつなぐ役割を果たしたいと思います。

#### ◇田沢湖マラソンについて

第35回田沢湖マラソンは、9月19日の開催に向け実行委員会で検討が行われています。新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない中、従前のように開催することは現実的に困難と考えます。しかし、安易に中止と判断せず、大会規模や運営面でどのようにしたら安全を確保しながら開催できるのか、そんな視点で検討を続けています。募集や準備等のスケジュールを考慮すると、今月中には実行委員会の方針を決定したいと考えています。

### 【農林商工部】

#### ◇今冬の雪害による農業施設等の被害状況について

昨年12月からの豪雪で、本市の農業施設でも雪害の被害が確認されています。28戸の農家で農業用パイプハウス43棟がビニールの破損や倒壊があり、被害額は1,212万円となっています。これらの施設復旧を支援するため、関連予算を本定例会に提案しています。ご審議をよろしくお願いします。

また、4月17日から18日にかけての暴風で、農林業者研修集会施設

の雲沢集落センターで屋根の剥離被害が発生しました。当施設は昭和60年に建築され35年以上が経過しています。建物の躯体は鉄筋コンクリート造ですが、屋根部分は木造となっていることから、屋根部分の全面改修が必要不可避と判断し、改修経費について補正予算に所要額を計上しています。ご審議をよろしく申し上げます。

#### ◇新規就農者等の確保・育成について

仙北市の農業振興の柱となる担い手育成について、本年度は県の未来農業フロンティア育成研修に新規1人を含む2人、地域で学べ農業技術研修として、大仙市の東部新規就農者研修施設に1人、合わせて3人の若き農業後継者が4月から研修に取り組んでいます。地域に欠くことのできない担い手として成長し、農業生産活動に従事されるよう期待しています。

#### ◇農地集積加速化基盤整備事業について

田沢湖神代地区で事業実施中の県営ほ場整備事業は3年目を迎え、今年度分として3月に入札が行われ市内8業者が落札しています。全体計画のうち、東側の東田地区周辺で8工区、全体面積55.0haの面工事で11月末までの工期となっています。

また、生保内南地区では、暗きょ排水工事及び補完工事が行われ、今後更なる作業効率の向上とコスト削減、高品質な稲作農業の展開が期待されます。

#### ◇田沢湖玉川地区の国有林への入山禁止措置について

秋田森林管理署・秋田県自然保護課・仙北地域振興局・仙北警察署・田沢湖猟友会などで構成されるツキノワグマ対策連絡会議では、田沢湖玉川地区の国有林でのツキノワグマの生息状況などを踏まえ、今年度も昨年度に引き続き春の雪解けから秋の降雪までの間、国道341号沿いから国有林への入林を禁止することとしました。皆様のご理解をお願いします。

## ◇田沢湖黒沢工業団地植物工場建設に係る地元説明会について

3月30日、田沢湖黒沢工業団地に隣接する中生保内地区の役員を対象に、事業の地元説明会を開催しました。参加は地元から7人、株式会社ハレタス田沢湖から2人、市から5人でした。植物工場建設中断になった経緯について説明し、地元から「雇用確保や地域活性化の観点からも、企業進出は期待をしていたところで残念。是非とも実現に向けて引き続き努力をして欲しい」との意見がありました。

5月25日には、親会社の株式会社レスターホールディングス、株式会社バイテックベジタブルファクトリー及びハレタス田沢湖と市でオンライン会議を行い、直営工場の事業計画の見直し、また、新たな事業の取組についても情報を共有しています。

今後も関係機関と連携を保ち、植物工場の進出実現に向けて協議を継続していきます。

## 【建設部】

### ◇令和3年度国庫補助事業について

令和3年度社会資本整備総合交付金事業国庫補助金について、当初予算の内示率は63%と昨年同様例年に比べて若干高い配分となりました。要因は、橋梁補修や道路ストック点検の重点事業の道路メンテナンス補助事業が96%と高配分されたことによります。しかし、従来から要望している社会資本整備総合交付金事業の内示率は、42%と依然低い配分となっていて、予定している事業進捗が望めない状況です。今後も国庫補助金の補正予算の有無を問わず、新型コロナの感染状況もありますが、強力に要望活動を継続します。

### ◇道路事業期成同盟会について

5月21日に開催を予定していた、「国道46号地域高規格道路・盛岡秋田道路整備促進期成同盟会総会」、「国道105号地域高規格道路・大曲・鷹巣道路整備促進期成同盟会総会」は、新型コロナ感染拡大防

止の観点と秋田県の警戒レベルが3に引き上がったことを受け、両総会とも書面開催としました。総会提出案件については、すべての会員から承認をいただき、今後の活動を一丸となって進めていきます。

現在、国道46号盛岡秋田道路は刺巻地区の線形改良工事を実施しています。また、長年にわたり要望していた国道105号大曲鷹巣道路の仙北・北秋田両市境(大覚野峠地区12.5km)のうち、5.7kmが国直轄権限代行により事業化が決定しました。

今後も、関係する自治体と連携し、同盟会活動を強力に進めます。議会の皆様の特段のご協力をお願いします。

#### ◇景観形成重点地区及び火除けの景観に関する提言書について

仙北市景観条例に基づき、平成30年度、良好な景観づくりの推進などを牽引する市民組織として景観づくり市民会議を設置し、以来、景観づくりの方向性や景観形成重点地区の指定に向けた議論などを行ってきました。2月には、議長及び産業建設常任委員会委員、3月には景観アドバイザーの北原啓司(きたはら けいじ)弘前大学教授、村上早紀子(むらかみ さきこ)福島大学准教授、4月には私との意見交換も行い、5月12日に「景観形成重点地区及び火除けの景観に関する提言書」を提出いただきました。今後内部で検討を行い、市民や事業者の合意形成に基づき、景観形成重点地区を指定し、地区の特性を活かした景観づくりを推進したいと思います。

#### ◇古城山の桜について

5月9日、古城山の桜の木2本が切り倒された事案が判明しました。本当に残念な出来事でした。桜の木は、市が企業版ふるさと納税を活用して植樹し、角館まちづくり地域運営体が事業の一環として位置づけたもので、市民の誕生記念や還暦記念等のプレートをかけていました。現在、警察に被害届を提出し、運営体と共に捜査への協力やパトロールの強化等の対応をしています。

## ◇水道事業について

国庫補助事業を導入し、今年度も継続して山谷川崎地区・卒田地区の水道未普及地域解消事業を行います。両地区とも配水管敷設工事が主体で、4月1日現在の国庫補助内示率は要望額に対して100%となっています。

## ◇下水道事業について

今年度も、田沢湖浄化センターの重要設備機器更新として、受変電設備と監視制御設備の更新工事及び前郷処理場施設のマンホールポンプ更新工事を行う予定です。両事業とも3か年計画の最終年度で、ともに国庫補助内示率は要望額に対して100%となっています。

## 【医療局】

### ◇令和2年度決算見込みについて

田沢湖病院は1,853万6千円の黒字見込みです。コロナ禍にありましたが、慢性期対応病院のため影響はなく、入院患者数は前年度より増加しました。一方で外来患者数は減少し、発熱外来の開設による国や県からの補助金を活用しました。また、不採算地区病院への補助金が拡充されたこともあり、これも黒字の要因となっています。

角館総合病院は、4億2,979万円の赤字見込みですが、収益的収支には、特別減収対策企業債を含んでいないので、同企業債を含んだ実質の赤字額は8,979万円になる見込みです。国や県からの財政支援を得ながら、収益確保に努めましたが、コロナ禍による受診控えや、脳神経外科及び小児科常勤医師の不在による患者数の減少など、病院経営に大きく影響したものと捉えています。

### ◇新型コロナへの対応について

両病院での医療従事者のワクチン接種率は、おおむね8割が終了しています。6月の第2週には接種が完了する予定です。

また、高齢者へのワクチン接種が始まったものの、県内でも変異株が

確認されるなど感染者数が増加している状況です。今後もコロナ病床の確保や発熱外来の継続など、新型コロナ最優先での対応が求められますが、経営改善を行いながら地域医療の継続に全力で取り組む覚悟です。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は報告関係5件、専決処分関係6件、予算関係4件の計15件です。

慎重審議の上、全議案についてご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。